＊＊2026 年 02 月（第 4 版）
＊2023 年 09 月（第 3 版）

製造販売届出番号　13B3X00243000014

機械器具（６９）歯科用蒸和器及び重合器

一般医療機器　歯科用フラスコ　42343000

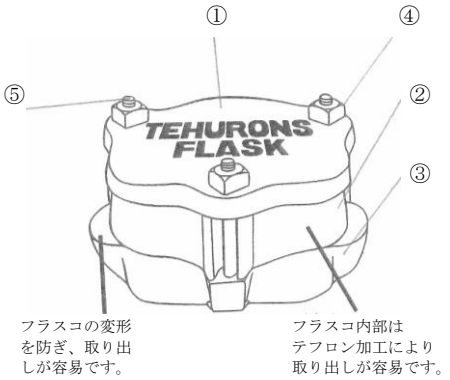
テフロンコーティングフラスコ

【形状･構造及び原理等】

テフロンコーティングフラスコは義歯制作時に床用レジンを填入する為に用いる。内面には石膏が取り外ししやすい様にテフロンコーティングが施されており迅速な作業が行える器具である。

［形状・構造等］

１）形状



〈サイズ〉

・５吋(底付・底抜)　寸法：72×90×53 ㎜
本体重量：底付 1665ｇ　底抜 1678ｇ
・４･1/2 吋(底付・底抜)　寸法：56×80×45 ㎜
本体重量：底付 1208ｇ　底抜 1185ｇ
・４吋(底付)　寸法：50×70×38 ㎜
本体重量：底付 810ｇ　底抜 830ｇ
・局部大(底付)　寸法：35×52×35 ㎜
本体重量：底付 430ｇ
・局部小(底付・底抜)　寸法：28×50×30 ㎜
本体重量：底付 360ｇ　底抜 360ｇ

＊寸法はすべて内寸です。（縦×横×高さ）
＊内面処理はテフロンコーティング。
＊表面処理はバフ研磨。

２）材質・組成

①　蓋　：鉄鋳物
②上部フラスコ　：真鍮鋳物
③下部フラスコ　：真鍮鋳物
④ナ　ッ　ト　：鉄（ユニクロメッキ）
⑤ボ　ル　ト　：鉄（ユニクロメッキ）

【使用目的又は効果】

義歯制作時における床用レジンを填入する為の器具

【使用方法等】

１）ボルトとナット、蓋をはずし下部フラスコに模型を１次埋没する。
２）上部フラスコをはめこみ、２次埋没をする。
３）３次埋没をして蓋をしてボルトを締める。
４）脱ローをしてからレジンを入れ重合する。重合終了後フラスコから石膏を取り外し、義歯を掘り出す。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

＊１)【保守･点検に係る事項】に記載する方法及び条件で行うこと。
２）本製品の使用によりアレルギー反応が現れた場合は直ちに使用を中止すること。
３）破損等の原因になるので以下は行なわないこと。
①本製品に対する改造（曲げ・切削等）
②粗雑な扱い（キズを付ける・落下させる・強い衝撃を与える等）
③バーナーを用いた加熱。
４）使用の際は無理な角度・過度の加圧を避けること。
５）薬液等が付着した場合腐食するおそれがあるので注意すること。
６）本品及び破折片等の誤飲に注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

「保管の条件」
①長時間の日光などの紫外線を避けて保管してください。
②火気の近くに保管しないでください。
③腐食を避ける為､錆びている物と一緒に保管しないでください。
④化学薬品と一緒に保管しないでください。
⑤破損しないように金属等重たい物と一緒に保管しないでください。
＊＊⑥水分が付着したまま長時間放置すると錆染み等の原因となることがあるので､洗浄後は十分に乾燥させてから保管すること。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）

１）使用前・使用後に以下について点検すること。
①本品の洗浄は、水、お湯等できれいに洗浄してください。
・洗浄後の器具は十分に乾燥してから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると錆び（特に蓋・ボルト・ナット）の原因になります。
・洗浄乾燥後はボルト・ナットには油分を塗布し、蓋には錆びが発生しない様塗料等などでコーティングしてください。
②フラスコ内面に付着した石膏等を除去するときは､内面がテフロン加工なので刃物等金属物で除去しないでください。テフロン加工が剥がれてしまいますので注意してください。
③重合後､掘り出しの際に強い力で直接フラスコ本体を叩くと変形の原因になるので注意してください。
④本製品は同じサイズであっても１組１組がセットになっておりますので組間違わないように注意してください。
⑤本製品は重量があるので､落下等させるとケガをするので十分気をつけてください。
⑥ボルトに破損、ヒビ、変形等がある場合は、早急に新しい物と交換してください
⑦磨き粉、金属ウール、金ブラシの使用禁止
・劣化の原因になるので洗浄の際、磨き粉や金属ウール、金ブラシを使用しないこと。
⑧必ず使用前、使用後に器具の点検をすること。

２）使用前に本製品の外観の汚れ、破損、ヒビ、キズ、腐食及び劣化等の異常がないかについて点検すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者　：有限会社 秋山歯科器具製作所
電話番号　：０３－３８７１－６５２２
製造業者　：有限会社 秋山歯科器具製作所